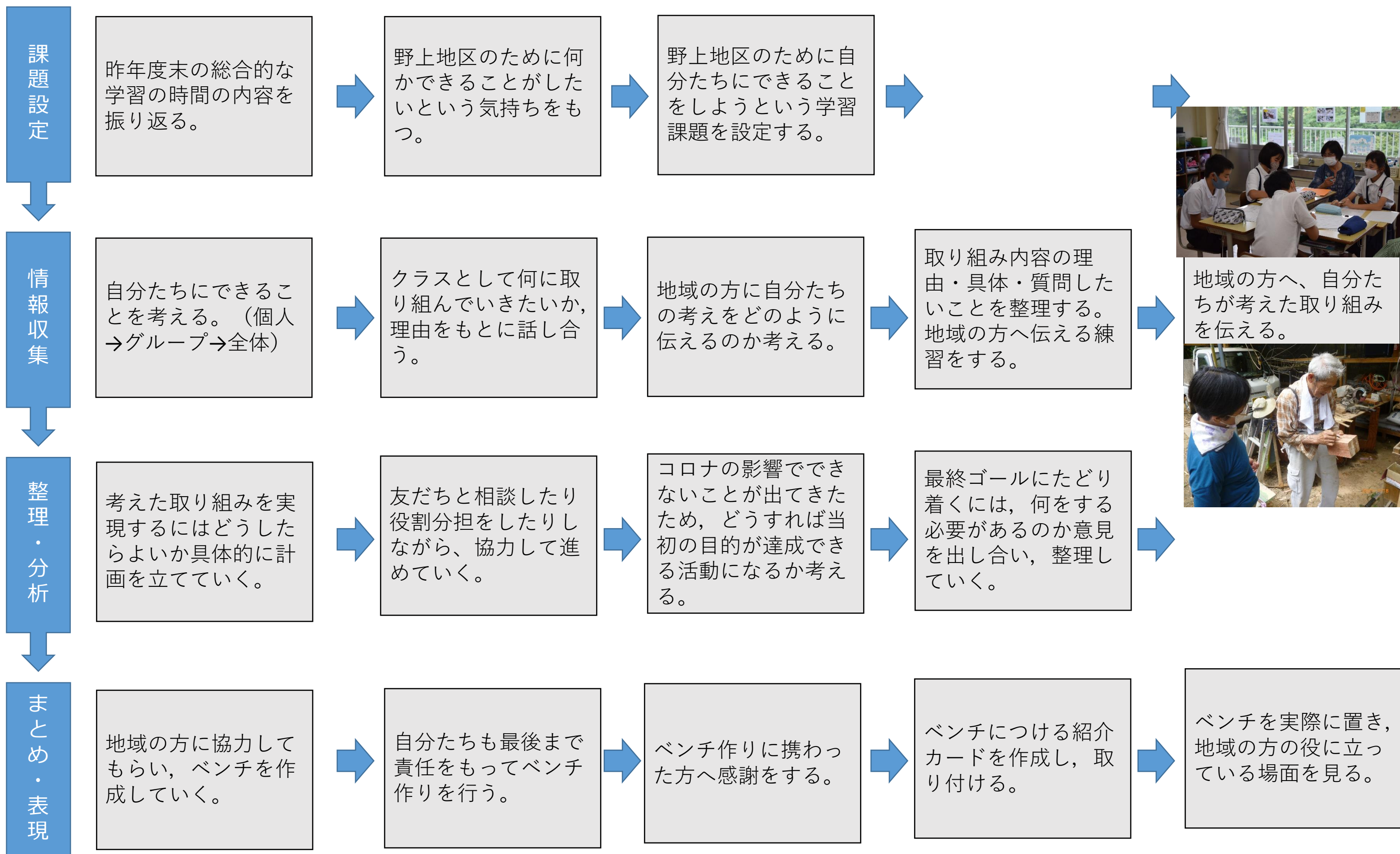


野上小学校・3・4年 単元名『大好き、井原！』の流れ（探究過程）と活動の実際 担当【永井 達弥】

◆単元のねらい ・身近な人と関わる中で、井原市の良さに気づくことができる。 ・綿を自分たちの手で育て収穫することで、井原市の特産物について知ることができる。



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○自分たちが考えたことを地域の方に伝えたときに、すべて受け止めてくださり、「協力するよ。」と言ってくださったことが、子どもたちの心に大きく残った様子だった。地域の方が自分たちのことをこんなに思ってくださっているんだと感じ、そこから主体性が生まれた。

△児童発案のため、どこまで児童ができるのか見極めが難しかった。そのため時間がかかりすぎてしまうことがあり、見通しの甘さが出てしまった。

☆地域の方の思いを聞く機会は、地域の方のすごさや価値観を知ることができるだけでなく、児童の学習に対する姿勢を前向きにするものだと感じたので、今後も地域の方とのかかわりを適切な場面で取り入れながら学習を進めていきたい。